

第2回 大麻町未来づくり会議資料

本日の進行概要

(1)オブザーバーの紹介(18時00分)

(2)第1回会議の振り返り等(18時10分～)

(3)アンケート調査・分析報告(18時15分～)

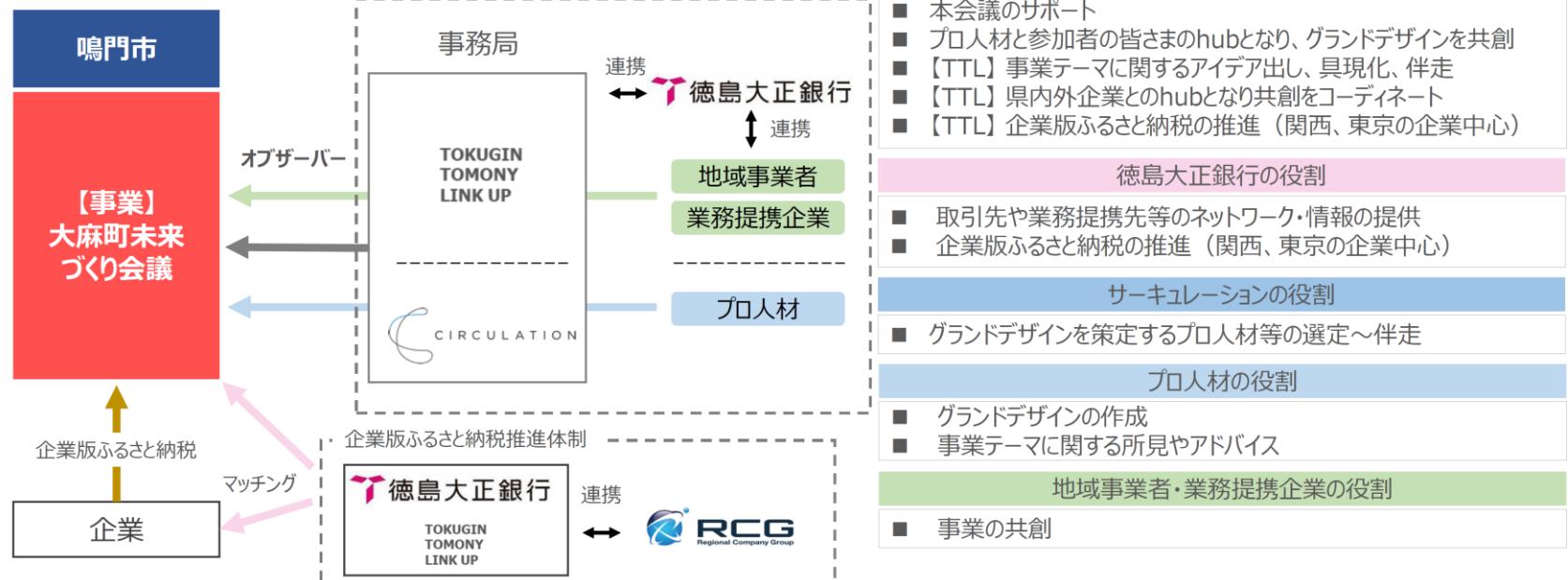
(4)グループワーク(18時30分～)

(5)今後のスケジュール(20時00分～)

1. 「持続可能な地域社会の形成とWell-being向上に向けた共創」に関する連携協定(9月30日締結)

【連携内容】

- (1) Well-beingの向上に関すること
- (2) 地域資源を活用したまちづくりの推進に関すること
- (3) 住民参加型の地域活動の推進に関すること
- (4) 企業版ふるさと納税を活用した関係人口の拡大に関すること
- (5) その他、本協定の目的達成に必要な事項



大麻町未来づくり会議

2. 第1回会議のおさらい

<日時> 令和7年6月30日（月）18時～19時40分

<場所> 堀江公民館

<目的> 「大麻町」の活性化につなげるために、「何が課題か」「何をすべきか」の意見集約や実事業化に向けた検討を行う場として、開催されました。



本会議のあり方・運営等

- ・座長は小田切氏。副座長は委員推薦により木村委員が就任
- ・会議の公開原則、議事録作成方法の確認
- ・大麻町全体のまちづくりの話のため、**委員が主役**となって**自由な発言や発想を言う会議**
- ・「公共交通」「にぎわい創出」「企業誘致」などについて議論を行う

各委員の抱負

- ・二眼レフで見た西の拠点になれるようにみなさんと知恵を絞って、素敵な大麻町になるようにがんばりたい
- ・大麻町がすばらしいまちになるように活性化するように一生懸命やっていきたい
- ・みなさんのご意見をいただきて、農業を発展させていただきたい
- ・この機会を活用して大麻町の活性化に協力させていただきたい
- ・自然、文化は豊か、美味しいものも多い大麻町の魅力をもっと知ってほしいので、発信するツールを提言したい。
- ・大麻町の魅力が知られていないのが残念。魅力は十分あるのでチーム戦で臨んでいければ
- ・福祉の現場だけでなく、子育て世代の視点からも、まちを盛り上げていければ
- ・良いところを残して大麻が発展していければ。子育て世代の意見を中心に提案できれば
- ・大麻住民として意見を出していきたい。
- ・商工農で何かおもしろいことができれば

大麻町の現状説明

- ・特徴（体験型コンテンツ（大谷焼など）、観光資源（ドイツ館など）歴史・文化的資源（靈山寺、大麻比古神社など）
- ・人口の推移、児童数の推移と合計出生率、人口流出の傾向、女性人口の減少率、産業や空き家の推移、駅・バス利用者
- ・（仮称）大麻町総合防災センターの整備、学区制の廃止
- ・今後のスケジュール案、アンケート調査

本会議のロードマップ

- ・第2回を10月開催。次回はアンケート結果の公表や具体的な意見・アイデアを整理
- ・第3回は年度末頃に開催予定。グランドデザイン（骨子）の提案や意見交換

今後の検討・方向性

- ・各委員が考えるテーマごとの課題や意見を次回の会議で提案すると、具体的な話が出るのではないか
- ・各委員が持ち寄った意見が近い同士がグループとなって議論を深めるやり方がアイデアが出やすい
- ・委員が考える課題や意見については、専門分野のほか、地域住民の視点の両方から検討する

3. 委員からの意見・問題提起

教育・子育て

- ・事務局が作成した資料のキーワードで「子育て」がない。
- ・子どもが遊べる場所、居場所が少ない。
- ・子育て世代が交流できる場所もあまりない。
- ・都会と田舎でキッカケ格差が大きい。子どもたちのキッカケづくりができる場があればいい。

公共交通

- ・JR鳴門線はなくならないのか。
- ・JR鳴門線の乗ってレンコン畑を見て、風景を楽しめるということもアピールできる。

空き家の活用

- ・空き家を活用して移住者を受け入れる。
- ・例えば民泊をして滞在してもらう。
- ・民泊をするための施設を問い合わせがあり、メディアの発信力の影響は大きい。

歴史・文化

- ・資料に遺跡や古墳の歴史の記載がないので、歴史・文化的資源として、今後、視野に入れてほしい。
- ・堀江地区の蔵見学や東林院、阿波神社は歴史があるので、PRしてみてはどうか。

その他意見

- ・大麻町には県外の方から見たら、すごくいいところがいっぱいあるが、市民がそれを認識できていない。
- ・大麻町のプロモーションが地味である。
- ・歴史や文化、鉄道もあるが地味。
- ・津波など災害が少ないことがアピールポイント。
- ・グランドデザインを考えていくにあたり、民間事業者の意見を聞くことも大切である。
- ・都市計画区域について、町の大半が市街化調整区域になっているので、開発するのに障害になっている。

企業誘致

- ・ホテルがないから素通り。ホテルの誘致は絶対である。
- ・スーパーなどの企業誘致はできないのか。鳴池線が混んでおり、通る人もあるので 企業誘致をお願いしたい。

4. 現状報告① 「(株)クスリのアオキ 大麻店」について



大麻町未来づくり会議

4. 現状報告②(民間団体と連携した移動支援事業)

< bande桧～乗降場所 >	
①リューネの森集会所	1.3km 3分
②桧集会所	850m 2分
③川原場集会所	1.1km 1分
④津慈集会所	2.8km 7分
⑤板東南ふれあいセンター	3.7km 6分
⑥人権福祉センター	4.4km 7分
⑦医王集会所	5.0km 8分
⑧馬詰集会所	6.4km 9分

- ◆西エリア<ルート1（鳴門・藍住方面）>
- 運行日：第1・3木曜日（午前9時）
 - 乗降場所：①②③④
 - 行き先
第1木曜日：③（池谷駅・鳴門駅経由）
第3木曜日：①（板東駅経由）
 - 運行ルート
①②③④乗降 ⇄ ①③買い物（駅利用者は降車のみ）
 - 運行にかかる所要時間（片道）
藍住方面：15～20分
鳴門方面：30～40分

- ◆東エリア<ルート2（鳴門・北島方面）>
- 運行日：第2・4木曜日（午前9時）
 - 乗降場所：⑤⑥⑦⑧
 - 行き先
第2木曜日：③（池谷駅・鳴門駅経由）
第4木曜日：②（池谷駅経由）
 - 運行ルート
⑤⑥⑦⑧乗降 ⇄ ②③買い物（駅利用者は降車のみ）
 - 運行にかかる所要時間（片道）
北島方面：25～35分
鳴門方面：35～45分



実施主体

暮らしのサポートセンター「縁どころ」

運行主体(協力)

- 社会福祉法人大麻福祉の町(草の実学園、板東の丘、Bande桧)
- 社会福祉法人しあわせの里福祉会(しあわせの里)

5. アンケート調査結果・分析報告

(1) 住民の現状

- ・アンケートでは、回答者の約9割が「現在の暮らしに幸せを感じている」と答えており、**大麻町の自然の豊かさや静かな住環境といった魅力**が、住民にとって重要な要素となっていることが示された。
- ・一方で、住民の8割以上が日常の買い物を町外に頼っている実態があり、特に「スーパー・マーケット」や「公共交通」の不足が課題となっており、これらの要因は、**生活の利便性や定住への不安**にもつながっていることが明らかになった。

(2) 今後の展望

- ・世代ごとに望む未来の姿は異なるが、「子育てしやすいまち」「生活の利便性（買い物や交通）はすべての世代で多く挙げられ、各世代で共通して望まれている「まち」の姿と考えられる。
- ・また、町の**経済的な活力への関心も高く**、産業振興では、「農産物のブランド化」や「観光との連携」を約半数が挙げ、歴史・文化資源の活用では、6割以上が「観光PRの強化」を望んでいる。こうした結果から、**農業と観光を活かした賑わいづくりへ高い期待**が示された。
- ・また、「企業誘致による雇用創出」も4割以上から求められており、**安定した働く場所の確保**が重要な課題であることが明らかになった。

(3) その他

- ・本アンケートでは、**住民の約4人に3人が「まちづくりに関心がある」と回答**している。
- ・これは、まちをより良くしたいという大きなエネルギーが地域に存在していることを示しており、今後のまちづくりにおける重要な推進力となる。
- ・今後は、地域での意見をできる限り反映させ、具体的な施策につなげていくことが必要である。

大麻町未来づくり会議

6. グループワーク

(1) グループワークの進め方

3グループに分かれ、各グループで主要テーマについて意見交換をし、全体を共有する。

大麻町未来づくり会議 委員名簿

(順不同、敬称略)

No.	所 属	名 前	備 考
1	徳島大学 総合科学部	こたぎり やすひこ 小田切 康彦	座長・学識経験
2	板東地区自治振興会	きむら まさみ 木村 正美	地域の代表
3	堀江地区自治振興会	よしだ はつこ 吉田 初子	地域の代表
4	大麻町商工会	ごとう かんじ 五島 寛治	商工
5	大麻町商工会 青年部	こばやし みのる 小林 稔	商工
6	鳴門市観光コンベンション 株式会社	やまぐち まさと 山口 雅人	観光
7	JA徳島県 徳島北地区	ふじかわ ひろし 藤川 浩	農業
8	大谷焼陶業協会	おおにし なおき 大西 直紀	文化
9	鳴門市教育委員	かい ようこ 甲斐 洋子	教育
10	株式会社 本家松浦酒造 場	まつうら もとこ 松浦 素子	歴史
11	大麻地区社会福祉協議会	こんどう たつひこ 近藤 龍彦	福祉
12	社会福祉法人 大麻福祉 の町	あべ 阿部 みづ	福祉
13	地域市民	なかむら しょう 中村 翔	公募
14	地域市民	こおり ゆきひろ 郡 幸弘	公募
15	地域市民	かわい こ 川井 ふみ子	公募

【役割とグループ分けについて】

●ファシリテーター：佐藤 地域活性化起業人

リーダー：班員の意見を引き出しまとめる。 班員：自由に意見を出してください。

▽オブザーバー：記録と運営のサポートや班員の意見の補足をしてください。

A班

- 木村 正美
- 山口 雅人
- 松浦 素子

▽鳴門市 藤倉

B班

- 五島 寛治
- 小林 稔
- 藤川 浩

▽鳴門市 吉川

C班

- 甲斐 洋子
- 阿部 みづ
- 中村 翔
- 小田切 康彦

▽鳴門市 飛越

D班

- 吉田 初子
- 近藤 龍彦
- 郡 幸弘
- 川井 ふみ子

▽鳴門市 濱田

以下の4テーマについて、班毎に大麻町に必要な取組を考える。

A班：観光振興・賑わい創出（歴史・文化資源の活用含む）

B班：産業振興・企業誘致（スーパーなどの誘致含む）

C班：子育て・教育環境の充実

D班：公共交通・移動支援



グループで意見をとりまとめて、全体に共有し、意見交換を行う。

大麻町未来づくり会議

6. グループワーク

(2) タイムスケジュール

時間	内 容	説明者
18時30分	グループワーク実施の趣旨説明 グループワークの流れ・目指すゴールの説明	事務局
18時35分	<p>【進め方】</p> <p>(1) 各テーマについてディスカッション（20分間）+まとめ（5分間） (2) リーダーよりディスカッションした内容について発表（3分程度） (3) まとめた意見に対して、全委員で意見交換（8分程度） 例：A班のまとめた意見を踏まえ、B班～D班の方からの意見も聴取 し、ファシリテーターが大まかな方向性をとりまとめる (1テーマ8分程度) (4) (2)と(3)をB班～D班のテーマに関して続ける。</p>	ファシリ テーター
18時45分	グループワークの実施・発表（リーダーやオブザーバー等を中心に）	各班
19時54分	まとめ（全体総括）	座長
20時00分	今後のスケジュール説明・会議終了	事務局

大麻町未来づくり会議

7. スケジュール

		令和7年度					令和8年度					令和9年度以降					
		4	7	10	1	3	4	7	10	1	3	4	7	10	1	3	
意見集約	会議開催																
	地域との意見交換			アンケート				グラントデザイン案		地域説明会							
実施段階	短期的取組 (概ね5年以内に実施)																→
	中期的取組 (概ね10年以内の実施を目指す)																→
	長期的取組 (概ね20年以内の実施を目指す)																→

【第1回目に提示した会議の進行イメージ】

- 1回目…現状や課題、会議進行イメージの共有と意見交換
- 2回目…アンケートを踏まえた地域の意見の共有と意見交換
- 3回目…グランドデザイン(骨子)の提示と意見交換
- 4回目…地域説明会の意見をふまえたグランドデザイン(案)に関する意見交換
- 5回目…グランドデザイン(最終案)について

⇒年明けに、グランドデザインの(骨子)を提示し、意見交換を実施。

意見交換の状況を踏まえ、会議の回数を増やすことも視野に、プランの精度を上げるよう取組を進める。